

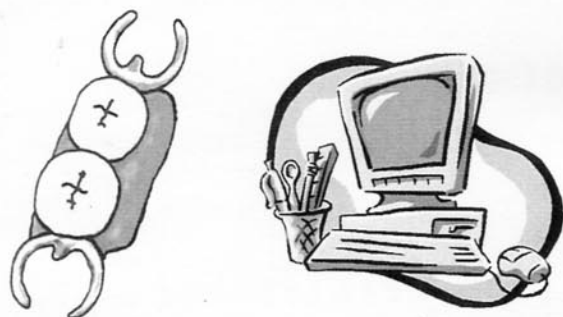
③たぶん違和感があって入れないんじゃないかと、とりあえず保険の義歯でやってみる。はじめから金属床義歯をすすめる人はあまりいないんじゃないだろうか。

④使っているうちにけっこうよく噛め、体の一部になる人もいる。今度はもっと快適な金属床義歯を希望する患者さんもある。半年に一度の定期検診と数年ごとのバージョンアップをされる患者さんもある。

⑤しかしながら、「わたしゃどてで何でも食べられるから入れ歯はいらないよ」という元気な方もおられる。せっかく作った義歯が埃をかぶらないように、体の一部となって健康な食生活を送ってくれたらと願うのですが……。

この辺まで読まれると、何となくパソコンと義歯の共通する部分があることにお気づきではないでしょうか？

そんなわけで初めての義歯は保険で、初めてのパソコンは廉価な入門機で、とにかく買って使ってみましょう。情報は周りのひとの口コミから得ます。不具合なところは主治医にすぐに診てもらいましょう。あなたの体の一部になりはじめたら定期検診とバージョンアップ、数年で新しいものとお取り替え。まさに義歯とそっくりですね。ま、義歯がなくなったら100歳以上で元気で暮らしていらっしゃるお年よりもいますから、パソコンを知らなくても楽しく暮らせる人ももち



いれ歯とパソコンは同じ！？

●どこか共通点がある気がする



●はじめから欲張ってはいけません

ろんいるでしょう。

道具オタクにならないためには？

もうひとつ、われわれ歯科医師はけっこう道具にこだわる方が多いので、お店に1人で買いに行ってもなりません。なぜなら店員のすすめでどうしても上位機種を買ってしまうことが多いからです。「この機種はテレビも今話題のDVDも見られます」「ハードディスクはビデオ編集もらくらくできる40ギガバイト搭載がいいですよ」「こちらですとCPUがペンティアムの800メガヘルツですから速くて高性能ですよ」

この一言でどうしてもわれわれは高級機種に移りてしまうのです。店員は高いものが売れるほうがいから、知らないうちに予算オーバーなんてこともよくある話。

「どうせ買うんならエンジンはV8でオプションの本皮シートとサンルーフ、それからカーナビとやらも付けちゃおうか」という新車を買うときのノリでは決して買わないこと。パソコンは車や診療の道具と違って3年も使えば老朽機器、買い替え時の下取りはタダ同然、くれぐれも“道具オタク”にならないでご自分にあった初級レベルのものを購入しましょう。

というわけで今回は購入の準備について書いてみました。読者の方には「パソコンひとつ買うのにもけっこう壁があるもんだな」と感じられたかもしれませんが。パソコンをよく知っている人を探すのもたいへんかもしれません。しかしながら、反対にパソコンを完璧に使いこなす人はまずいないということも事実です。決して臆することなく目的をひとつかふたつに絞り、チャレンジしてみてください。パソコンの知識は後からついてきます。

次号は「買ってはみたものの」の予定です。